

-----1月26日-----

2015年

※ 今週のアウトルック (1/26~1/30)

先週は、ECBの量的緩和に注目が集まりましたが、予定通り緩和策が発表され、ユーロは売られ、ドルが買われました。

今週は、ギリシャの総選挙の結果がまず注目されそうです。急進左派連合が第1党となった場合、ECBに対して債務の減額を要求するのか。さらに進んで、ギリシャのユーロ離脱の話が再発した場合の影響など、今週もユーロの動きから目が離せない展開となりそうです。

先週のドルは、ECBの量的緩和発表後、ユーロに対して大幅に上昇していますが、円に対しては、狭いレンジ内での取引となっています。

今週も引き続き、ユーロに対してはある程度の上昇が予測されますが、ギリシャの選挙結果にサプライズ的な動きがあった場合、また、サウジアラビア国王死去に伴う原油政策変更があった場合などは、反動からのドル売りに対する警戒も必要なように思います。

ドル円の予想レンジは115円から120円です。

先週のユーロドルは、ECBからの量的緩和発表後、1.15を割り込んで下落速度を上げています。

今週は、ギリシャの総選挙の結果次第では、さらに下落速度を上げることも考えられるように思います。

ユーロ円も完全に135円を割り込んできており、130円を割り込むことも時間の問題かもしれません。

ユーロ円の予想レンジは127円から135円です。

ポンド円はまだ、当面の方向感を見出しづらい状況です。176円を割り込むことなく持ち直すことができれば、テクニカル的には上昇トレンドに乗る可能性が浮上してきます。

ポンド円の予想レンジは174円から182円です。

今週は、ギリシャの総選挙の結果にまず注目が集まりそうですが、その後のギリシャやECB要人の発言には、神経質な動きとなりそうです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。